

# 都内避難者の皆様への 定期便

2019

1月号

NO.156



都内に避難されている皆様へ、  
東京都からのお知らせをお送りします。

## ふるさとからのお知らせ (P1~2)

ふるさとの今をお知らせします。今月は岩手県からです。

## ふるさと復興の今がわかるツアー実施報告 【福島県南部コース】 (P4)

平成30年10月23日(火)に実施したふるさと復興の今がわかるツアー【福島県南部コース】の実施結果についてお伝えします。

## 司法書士による面談・電話相談のご案内 (P6)

東京司法書士会が実施する法律相談のご案内です。

## 医療・健康に関する相談窓口のご紹介 (P9)

医療や健康に関して、都内に避難されている皆様もご利用いただける相談窓口をご紹介します。

## 現地の応援団より (P3)

東北で働く応援団をご紹介します。今月は、福島県内に派遣されている東京都職員からです。

## 「STAND UP SUMMIT 2018」開催レポート (P5)

平成30年8月7日(火)に開催された「STAND UP SUMMIT 2018」のレポートです。

## 東京しごとセンター (P7~8)

東京都が実施する就労相談などのご案内です。

## 「都内避難者相談拠点」のご案内 (P10)

東京都が実施する都内に避難されている方向けの総合相談窓口のご案内です。

次号の発送は、平成31年2月1日を予定しています。

# ふるさとからのお知らせ

## 今月は岩手県からお知らせします。

### 宮古市中心市街地拠点施設「イーストピアみやこ」供用開始

宮古市役所本庁舎と保健センター、市民交流センターの3つの施設から構成される、宮古市中心市街地拠点施設「イーストピアみやこ」が完成し、10月1日(月)に開庁式が開催されました。

東日本大震災津波では、旧市役所本庁舎は1階が水没。宮古保健センターが全壊するなどの被害を受け、その教訓から「災害に強いまちづくり」を核として移転整備が進められてきました。

新しい複合施設は、宮古駅の南側に隣接し、駅と連絡通路で結ばれ、駅前という利便性ととも、非常用発電機、備蓄倉庫、機材倉庫、太陽光発電などを備え、災害発生時は災害対応拠点と避難場所としての役割も担います。

また、市民交流センターには、震災の記憶や教訓を伝える「防災プラザ」、運動スタジオや音楽スタジオ、多目的ホールなども整備され、市民の活動や交流の拠点として期待されています。



所在地：岩手県宮古市宮町一丁目1番30号

開館時間：午前9時から午後9時30分まで

電話番号：0193-63-4166

HP：<https://eastpia-miyako.jp/index.html>

### 「陸前高田市まちびらきまつり」開催

9月29日(土)、30日(日)の両日、陸前高田市中心市街地(同市高田町)で「まちびらきまつり」(主催：同実行委員会)が開催されました。

同まつりは、JR大船渡線(バス高速輸送システム=BRT)や路線バスの同地区の発着所となる「交通広場」の完成と、中心市街地を横断する「高田南幹線道路」の開通を記念して行われたものです。



30日の記念式典で、戸羽陸前高田市長は「新しい誇りと愛着が芽生えるまちとして発展していくと確信しています」と挨拶。市内の小中高生が「7年半のありがとう。そして、ただいま、たかたまち」とまちびらきを宣言しました。

かさ上げ整備された同中心市街地には、昨年、大型商業施設「アバッセたかた」、大型遊具を備える「まちなか広場」、市立図書館、交流施設「ほんまるの家」、共同店舗「まちなかテラス」がオープン。現在、周辺には約25の飲食店や商店、事業所などが再建され、まちづくりが進められています。



## 震災後初「曳き舟まつり」復活

9月21日(金)から23日(日)の3日間、「大槌まつり」(主催：同実行委員会)が開催されました。

同まつりは、大槌稲荷神社と小槌神社の例大祭が合同で行われるもので、神輿を先頭に太(だい)神楽、鹿子踊、虎舞などの郷土芸能団体や各地の手踊り団体などが連なる神輿渡御行列が行われました。

まつりの目玉となる「曳き舟(ひきふね)まつり」は、大漁と海の安全を祈願し、神輿を乗せた船が大槌湾内を巡る伝統行事。震災により、漁船や参加する郷土芸能団体も大きな被害を受けたため、これまで中断していましたが、8年ぶりの復活となりました。

当日は、大槌稲荷神社の神輿を乗せた「御召(おめし)船」を中心に、大漁旗で飾られた13隻の漁船が、大槌魚市場を出港。町のシンボルである蓬菜(ほうらい)島周辺で神事を行った後、船は湾内を周回し、来場者は地域に根付く伝統行事の復活を楽しみました。



## 岩手県からの情報をもっと知りたいという方へ。

岩手県は避難されている皆様に情報紙等を発行しております。ご希望の方は

☎ 019-629-6945 (岩手県 復興推進課)

までご連絡ください。

また、WEB版もご用意しておりますのでこちらもご利用ください。

岩手県 復興だよりWeb

<http://www.pref.iwate.jp/fukkounougoki/dayori/dayoriweb/index.html>



# 現地の応援団より

東北で働く応援団をご紹介します。

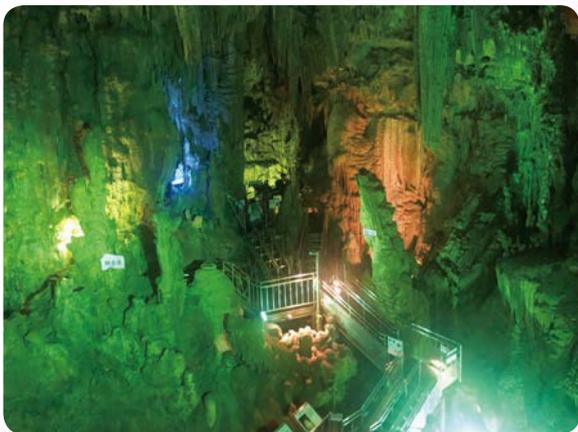
今月は福島県内に派遣されている東京都職員からです。

私が派遣されている福島県避難者支援課は、私のような福島県の庁舎に勤務する職員と、普段は東京都を含む福島県外に駐在している職員の計20名で構成されております。私以外にも、栃木県から派遣された職員も在籍しております。

避難者支援課では、主に県外に避難されている県民の皆さまに対する支援業務を行っており、私は避難されている方の交流会の企画・運営・相談業務や、県外の駐在職員と一緒に戸別訪問等を行う“復興支援員”の業務等を担当しております。東京都にお住まいの皆様とは、交流会の会場でお会いしていたり、復興支援員の活動を通じて接点がある方もいらっしゃるかもしれません。

休日には職場の同僚らと県内の多くの場所を旅行しています。浜通り、中通り、会津地方と同じ県内でも特徴が異なり、それぞれがとても魅力的であることにいつも驚かされています。また食べ物や飲み物がとてもおいしく、そば祭りや日本酒の飲みくらべイベントにもたくさん参加しました。公私ともに非常に充実した日々を送っております。

福島県ではインフラの復旧等が進む一方、県外にはまだまだ多くの避難者がいらっやいます。避難されている皆さんが一日も早く安定した穏やかな生活が取り戻せるよう、残りの派遣期間も引き続き業務に邁進いたします。



あぶくま洞（田村市で撮影）



そば祭り（会津坂下町で撮影）

東京都職員（福島県避難地域復興局避難者支援課派遣）  
具志堅 理

## ふるさと復興の今がわかるツアー 【福島県南部コース】を実施しました！

平成30年10月23日(火)に、ふるさと復興の今がわかるツアー【福島県南部コース】を実施し、いわき市・富岡町でふるさとの復興の様子をご覧いただきました。いわき市内の復興公営住宅・北好間団地では、福島県職員等の方に住居概要、敷地内に整備された診療所等の住環境、復興公営住宅でのコミュニティ形成支援等についてご説明いただき、住居内を見学しました。富岡町では、富岡町役場職員から復興状況をご説明いただき、町内を視察した後、平成30年4月に開院したふたば医療センター附属病院を視察しました。参加者の方からは、地元の様子を見ることができた、復興状況がよくわかった、早く帰還したくなったなどの声が寄せられました。



復興公営住宅 北好間団地視察（いわき市）



福島県職員等による説明（同団地）



富岡町内視察



富岡町役場職員による復興状況説明



ふたば医療センター附属病院視察



リハビリテーション室（同病院）

●お問合せ先 東京都総務局復興支援対策部都内避難者支援課 ☎ 03-5388-2384

# 東日本大震災復興支援イベント 「STAND UP SUMMIT 2018」開催!!

平成30年8月7日（火）に「STAND UP SUMMIT 2018」（主催 株式会社東京ビッグサイト、共催 東京都、特定非営利活動法人次代の創造工房）が開催されました。

イベント第一部の「復興セッション」には300名以上の東北、東京、海外の中高生や大学生たちが参加しました。参加学生たちは、各協力企業や自治体などの復興への取り組みを学び、震災の風化防止や、これからの復興支援において「自分たちにできること」について議論を行いました。第一部の最後には学んだ内容をもとに現状の課題や解決策をポスターにまとめて、ステージ上で発表も行われました。地域や学年が異なる参加学生たちが自らの復興への思いをぶつけあい、非常に活発な意見交換が行われていました。



参加学生によるポスター発表



第二部復興ディスカッション

第二部で行われた「復興ディスカッション」では東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などをきっかけに、被災地への来訪者の増加が期待される中、復興を推し進め、より魅力的な観光地となるためには何をすればよいのか、参加学生の代表者とゲストによってそれぞれ異なる地域・立場から議論が行われました。

また、前日の6日には同じく東京ビッグサイトにて「STAND UP FESTIVAL」が開催され、サミット参加学生によって、合唱やダンス、東北の伝統舞踊の発表が行われたり、参加学生を対象にワークショップが行われたりするなど、翌日のサミットに向け参加学生同士が交流を深めていました。



参加学生による伝統舞踊発表

震災から7年が経過しましたが、学生たちは、今後自分たちは何ができるのかという課題に真剣に取り組んでいました。東京都もそんな学生たちに負けぬよう、引き続き被災県や避難されている皆様の復興を後押ししていきたいと思っております。



東京司法書士会では都内で避難生活を送られている被災者や避難者の方へ支援活動を行っております。みなさまへ寄り添い、少しでもお力になれますよう、情報提供や法律相談等の支援を続けてまいります。1月号では、ちょっと変わった遺言のお話をお届けします。

## 御家族への想い、ちゃんと伝えてますか？

御家族の将来について、「長女とは一緒に暮らしているのでわかるはずだ」「次男は何も欲しいとは言わないと思う」というようなお話を伺うことがあります。

しかし、親の気持ちは「伝えなくてもわかる」ものとは限りません。

御家族の集まる機会の多いこの時期に、是非一度皆さんで将来のことを話し合い、御自身の希望は遺言書として書き遺すことをおすすめします。

公正証書遺言・自筆証書遺言といった言葉をお聞きになったことがあるかも知れませんが、それは遺言書の形式のお話。まず大切なのは、御家族に伝えたいあなたの想いや、財産などの具体的な事गरらを、メモ書きでも良いので整理していただくことです。

その先の、遺言書の書き方や手続等の詳しいお話は、司法書士にお尋ねください。

## 面談による相談（予約制）

- 東京司法書士会総合相談センター（四谷・月曜～金曜 午後5時～8時  
火曜・土曜 午後1時～4時）

御予約電話番号：03-3353-9205

予約受付時間：平日午前9時～12時、午後1時～5時

場所：東京都新宿区四谷本塩町4-37（JR・東京メトロ 四ツ谷駅 徒歩約4分）

- 三多摩総合相談センター（立川・水曜 午後5時～8時  
木・土曜 午後1時～4時）

御予約電話番号：042-548-3933

予約受付時間：平日午前10時～午後4時

場所：東京都立川市曙町2-34-13 オリピック第3ビル202-A  
（JR 立川駅 北口 徒歩6分、多摩都市モノレール 立川北駅 徒歩5分）



## 電話による相談

電話番号：03-3353-2700

相談時間：平日 午前10時～午後3時45分 ※通話料は御相談者様の自己負担となります。

# 東京都内で就業希望の皆様へ 私たちがその就職、お手伝いします！



全て無料で  
ご利用  
できます

東京しごとセンターってどんなところ？

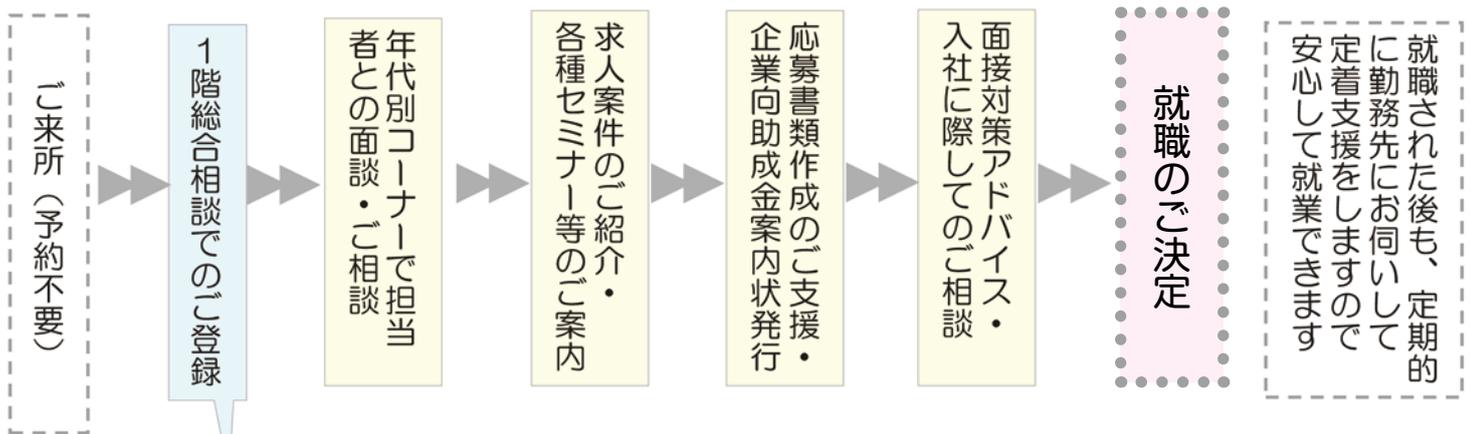


**A**

東京都が設置した、**<しごとに関するワンストップサービスセンター>**です。

キャリアカウンセリングや職業紹介、求職活動支援セミナーなど、様々な就職支援サービスを実施しています。緊急就職支援事業とは、東日本大震災で被災された方向けのサービスで、**採用企業への助成金制度や職場定着支援制度**などでご就業をサポートします！

## 初回ご登録/相談から就職決定までの流れ



予約不要です。  
お気軽にお越しください！



## ＊ ＊東京都緊急就職支援事業採用助成金制度について＊ ＊

東京都及び（公財）東京しごと財団では、東日本大震災により被災された方で都内での就業を希望される方を対象に「東京都緊急就職支援事業」を実施しています。

事業対象の方（事前に事業にご登録する必要がございます）を正社員又は6ヶ月以上の有期雇用として採用するとともに、就職後支援（職場定着支援）を6ヶ月受入れ、継続雇用している企業等に助成金を交付します。（支給要件あり）

### 就職が決定された皆様からのメッセージ

様々な年代の方たちが就職され、新たな出発をされています。



東日本大震災により離職を余儀なくされ家族で東京に避難しました。様々な気持ちを整理しつつ、ハローワークで仕事を探していましたが、今後の見通しが立ちませんでした。このまま東京に住むのか？それとも戻るのか？また震災前と仕事に対する考え方が変わってきていることを感じていました。「これから先どうするのか」「何をしたいのか」と答えの出ない日々を過ごしていました。

【誰かに相談したい、話を聞いてもらいたい。】その一心で東京しごとセンターを訪れました。

担当の方は、私の考えを尊重してくださり、親身にアドバイスをしてくれました。結果として登録から一ヶ月で思い描いた仕事に正社員として採用を頂きました。あの時、東京しごとセンターを訪ね、担当の方にお会いできて本当に良かったと心の底から思います。

30代 男性

【お問合せ先】

東京都が設置した雇用と就業を支援する施設です。

**東京しごとセンター 緊急就職支援事業担当**

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3

TEL:03-5211-3312 月～金曜日 9:00～17:00

**利用料無料**

**予約不要**

閉館2時間前までのご来所をお勧めします



飯田橋駅から  
JR中央・総武線「東口」より徒歩7分  
都営大江戸線・東京メトロ有楽町線・南北線  
「A2出口」より徒歩7分  
東京メトロ東西線「A5出口」より徒歩3分  
水道橋駅から  
JR中央・総武線「西口」より徒歩5分  
九段下駅から  
東京メトロ東西線「7番出口」より徒歩8分  
東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄新宿線  
「3番出口」より徒歩10分



**東京しごとセンター**